

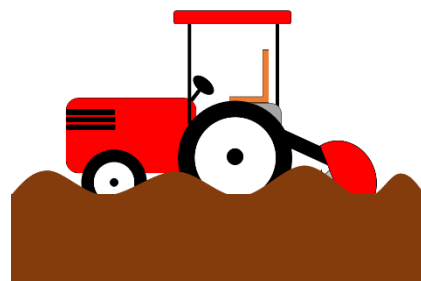
JA営農情報

№331 令和5年 4月号

米づくりに向けて

■土づくり

水田の耕うんはお済みでしょうか？4月に入り、一部山間地域では苗づくりが始まるところもありますが、作業が忙しくなるまでに一度耕うんしておくことをおすすめします。



また、耕うん前に土壌改良材の『粒状ケイカル』や『とれ太郎』を施用することで、水稻の栽培において重要なケイ酸が補給できるほか、土壌酸度の調整にもなりますので、積極的に施用しましょう。

〇10aあたり標準施用量

- ・粒状ケイカル（左）の場合 → 5～8本
- ・とれ太郎（右）の場合 → 3～4本

※どちらか1種類を施用してください。



■種子消毒

一般的に水稻種子の消毒は右画像の薬剤を使用して行います。それぞれ使用目的や希釈倍率が異なるため注意してください。

薬剤名	分類	希釈倍率	水10Lあたり薬量
テクリードCフロアブル	殺菌剤	200倍	50mL
スミチオン乳剤	殺虫剤	1000倍	10mL



2剤を混用

上記の薬液に24時間浸種したあと、薬剤を定着させるために水洗いせずに12～24時間日陰で干してください。イネシンガレセンチュウやばか苗病などはこの方法による防除が最も効果的ですので、確実にを行うようにしましょう。

果菜類栽培に向けて

この時期になると種苗店やホームセンターでトマトやナスなどの苗が販売され始めますが、一般的に果菜類の定植適期は5月上～中旬（連休明け）です。店頭で苗が並んでいると焦る気持ちもあるかもしれませんが、慌てずにしっかり準備しましょう。



■連作障害

夏野菜を代表するトマト・ナスなどのナス科野菜及びキュウリ・スイカなどのウリ科野菜はいずれも連作障害が出やすい作物です。農薬や資材で連作障害を完全に防ぐことはできないため、同じ場所で同じ“科”の野菜を続けて栽培しないよう注意してください。

右図のように、科目ごとに区画を予め決めて栽培し、翌年は別の区画で栽培するローテーション栽培という方法があります。この方法であれば、限られた農地内でも連作にならないよう効率よく栽培することができるので、参考にしてみてください。



☆みしま館 出荷会員募集のご案内☆

当JAが運営する農産物直売所『みしま館』の出荷会員を募集しています。持込が困難な方でも、ご自宅へお伺いして集荷する制度もございます。少量でも構いませんので自分で育てた農産物を出荷してみませんか？
詳細についてはみしま館までお問い合わせください。＊TEL：645-7100

《各種相談日のお知らせ》

	法 律 相 談 隔 月 第 2 木 曜 日	税 務 相 談 隔 月 第 4 金 曜 日	住 宅 ロ ー ン ・ 資 産 相 談 毎 月 第 3 土 曜 日	介 護 相 談 随 時 受 付
4 月	—	2 8 日	1 5 日	介護に関する 無料相談受付 まずはお気軽 にお問い合わせ下 さい。 <u>介護支援センター</u> <u>TEL：627-7767</u>
5 月	1 1 日	—	2 0 日	
6 月	—	2 3 日	1 7 日	
【実施場所】 農協会館（ＪＡ茨木市 本店）3階 小会議室 【受付時間】 午後１時～午後４時 定員は <u>3名</u> ですので、事前にお問合せください。 （無料でご相談いただけます） ふれあい・福祉課 TEL：627-7768			【実施場所】 ＪＡ茨木市 各支店	

※コロナウイルス感染拡大防止のため、各種相談会を中止する場合がありますのでご了承ください。



ご利用下さい

【テレホンサービス】青果物の市況をお知らせします。 TEL 641-9150
 【営農110番】栽培方法等ご相談ください。 TEL 641-9050